

VOICE

大阪労山の行事に口も顔も出しましょう

事務所で気になるのが、BOXにたまったままの機関誌です。大阪労山ニュースだけではありません。全国連盟のニュースや大阪の各専門部の行事案内など…積まれたままのクラブが複数あります。

クラブ運営はどうしているんだろう…案じてしまいます。

コロナのせいもあって、話し合うことが少なくなり大阪労山の情報も会員には伝わっていないんだろうなあ。

とても残念です。

私が労山に入って嬉しく思ったのは、老若男女問わず話し合えるということでした。

山の仲間＝利害関係がない…これは職場などでは味わえない醍醐味です。

仲間…なんだか昔のフォークソングや「歌声」みたいで言い古された表現みたいですが…なかなか捨て置けない関係です。この数年をみても、私には、新しい気の合う仲間が増えました。

実態を伴わない株価高騰、裏金問題、ネグレクト、広がる戦禍…仕事は非正規。こんな暗闇を吹っ飛ばすためにも、クラブで話し合い楽しい山行計画で盛り上がりましょうではありませんか！

大阪労山では、複数の行事や運営に参加して高齢になっても楽しむ方がたくさんおられます。所属クラブの仲間と手をたずさえ、大阪の行事に口も顔も出そうではありませんか。そこには苦労や苦慮もあるけれど、やはり手放せない醍醐味があるんです。

理事長 高橋 明代